

目黒区理科部門研究会

研究主題

見方・考え方を働かせ、資質・能力を高める理科学習

次期学習指導要領における小学校理科の目標は、「自然に親しみ、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象についての問題を科学的に解決するために必要な資質・能力を育成する」であり、各学年で主に育てたい資質・能力は、以下のとおりである。

3年：差異点や共通点を基に、問題を見いだす力

4年：既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力

5年：予想や仮説を基に、解決の方法を発想する力

6年：より妥当な考えをつくりだす力

つまり、理科の見方・考え方を働かせながら児童が見出した問題を解決し、その学習の過程の中でこれらの資質・能力を育成することを目指している。

そこで、理科部では、以下の事柄を明らかにするための研究を進めていく。

- ・ 理科の見方・考え方を働かせるとは、どのようなことなのか。
- ・ 理科の見方・考え方を働かせるために、どのような学習を展開していけばよいのか。
- ・ 理科の見方・考え方を働かせることと、資質・能力を育成することは、どのようにつながるのか。

今年度は、「エネルギー」「粒子」領域に重点を置き研究を進めていく。

<年間予定>

<今年度の計画 1年次>	<来年の計画 2年次>
4月 組織づくり 学習会 「現行と新指導要領の内容の違い」	4月 研究構想についての説明
5月 粒子領域の教材解釈	5月 生命・地球領域についての教材解釈
6月 エネルギー領域の教材解釈	6月 授業単元についての教材解釈
7月 現地研修会 「新宿地域冷暖房センター」	7月 現地研修会
9月 研究授業 5年 「流れる水のはたらき」	9月 研究授業
10月 授業指導案検討	10月 授業指導案検討
11月 高学年分科会研究授業 5年 「電流がうみ出す力」	11月 研究授業
12月 中学年分科会研究授業 3年 「じしゃくにつけよう」	12月 研究授業
1月 研究のまとめ	1月 研究のまとめ

